



学校図書館セット貸出し

カナダ・アメリカセット

Canada and United States of America

中学校向

国立国会図書館
国際子ども図書館

この冊子は、学校図書館セット貸出し
「カナダ・アメリカセット」（中学校向）
の解説です。

児童生徒を指導する際の参考にご利用
ください。

なお、セットごとに内容に若干の違いがあるため、こ
の冊子に掲載されていても、送付されたセットの中には
入っていない資料がありますので、あらかじめご了承ください。

絵本（創作絵本）

かもさんおとおり

ロバート・マックロスキー 文・絵 わたなべしげお 訳
福音館書店 1965年

かものマラードおくさんが、こがもたちを連れて、ボストンの町を練り歩く。かもの行列のために交通整理を買って出る警察官、温かく見守る町の人々など、日常のささやかな出来事を楽しむおおらかな姿が小気味良い。1942年コルデコット賞受賞。

シャチのくる日

シェリル・マクファーレン 文 ロン・ライトバーン 絵
こだまともこ 訳
文化出版局 1994年

海辺の小屋に1人で住んでいるおじいさんは、その年もシャチの群れを待っていた。夏がくると、シャチの群れが鮭の群れを追って海岸のすぐ近くまでやってくる。シャチに寄せるおじいさんの思い、畑作りや森での仕事、孫とのふれあいなど、日々の暮らしを静かに描いたカナダの絵本。色鉛筆で描かれた絵がやわらかく美しい。

ひとまねこざる

H. A. レイ 文・絵 光吉夏弥 訳
岩波書店 1998年改版

知りたがりやのさるのジョージが動物園を脱け出して、街へ出る。皿洗いをしたり窓拭きをしたり落書きをしたりと、なんにでも首を突っ込むジョージの姿を、ユーモラスに描く。日本でも50年間読み継がれている、古典的絵本。

ふぶきの道

マリリン・レイノルズ 作 スティーヴン・マッカラム 画
松本侑子 訳
河出書房新社 1994年

カナダの草原地帯に暮らす少女モーリーは、年老いた雌馬のベルに

乗って、町へピアノのレッスンに通っている。ある冬の日、レッスンの帰りに吹雪に見舞われ、家への道が見えなくなるが、ベルが必死で家までの道を歩き、モーリーを家まで連れ帰った。少女と優しく賢いベルの物語を通して、草原での人々の暮らしやカナダの自然を感じることができる。実話をもとにして描かれたカナダの絵本。

ベンのトランペット

レイチェル・イザドラ 作・絵 谷川俊太郎 訳
あかね書房 1981年

ジャズの好きな少年ベンは、ジャズ・クラブから聞こえてくる音楽を聴き、目には見えない自分のトランペットを吹いていた。ある日、憧れのトランペッターが近づいてきて、ベスが楽器を持っていないことを知ると、一緒にやってみようと楽器を吹かせてくれた。黒一色で描かれた独特な絵は、言葉で描かれていない様々なものを描き出している。1980年コルデコット賞次席。

ぼくのいぬがまいごです！

エズラ・ジャック・キーツ、パット・シェール 作・絵
さくまゆみこ 訳
徳間書店 2000年

スペイン語しか話せないホワニートが、引越してきたばかりのニューヨークで迷子の犬を捜す。次々と現れ協力してくれるのは、多民族国家アメリカを象徴するように多彩な出自の子どもたち。読後感が非常に良い、爽やかな絵本。作者のキーツは、後に『ゆきのひ』*でコルデコット賞を受賞。アメリカを代表する絵本作家の1人である。
*：セットには含まれておりません。お近くの公共図書館等をご利用ください。

やあ、ともだち！

クリス・ラシュカ 作・絵 泉山真奈美 訳
偕成社 1995年

2人の男の子が、出会って友達になるまでを描いたアメリカの近年の絵本。短い言葉のやりとりだが、文字が、絵の一部のように工夫を凝らして表情豊かに描かれており、2人の表情とあいまって、一言に詰め込まれた思いを感じることができる。日本語と英語が併記されているため、原語のリズムも楽しめる。1994年コルデコット賞次席。

リディアのガーデニング

サラ・スチュワート 文 デイビッド・スモール 絵 福本友美子 訳
アスラン書房 1999年

1930年代の大恐慌に見舞われたアメリカが舞台。両親が仕事をなくしたため、リディアは一時パン屋のおじさんに引き取られることに。リディアは持ち前の明るさとガーデニングで、仏頂面のおじさんを笑わせようとする。1998年コルデコット賞次席。

※この本に興味のある人は『エリザベスは本の虫』（アスラン書房）『少女ポリアンナ』（岩波書店他）も読んでみよう

絵本（昔話絵本）

おじいさんならできる

フィービ・ギルマン 作・絵 芦田ルリ 訳
福音館書店 1998年

おじいさんが孫に縫ってあげたブランケットは、孫の成長とともに次第に古ぼけていく。そこでおじいさんはブランケットをジャケットに作り直してくれる。ジャケットが小さくなると今度はベストに、さらにネクタイに、ハンカチにと直してくれる。老人の知恵や技術、情の深さ、そして孫が祖父へ寄せる強い信頼が心地よい。ユダヤ民話を元に創作されたカナダの絵本。

太陽へとぶ矢

ジェラルド・マクダーモット さく じんぐうてるお やく
ほるぷ出版 1976年

太陽神の放った命の矢に射ぬかれた娘が、男の子を身ごもる。成長した男の子は、まだ見ぬ父を求めて太陽へと向かう。そして、父が課した数々の試練を乗り越え、大いなる力を得て、少年は再び大地へと帰っていく。アメリカ先住民に伝わる物語を、デザイナーでもあるマクダーモットが独特の挿絵で絵本化。1975年コルデコット賞受賞作。

物話（創作物語）

星条旗よ永遠なれ

アヴィ 作 唐沢則幸 訳
くもん出版 1996年

「愛国心がもとで停学」。教室で起こった小さなトラブルが新聞記事で報じられ、アメリカ中が大騒ぎとなる。そして事態は当の先生と生徒の手を離れ、しかし確実に2人を傷つける。マスメディアのあり方、親子のコミュニケーション、政治など、あらゆる分野へ問題提起をしたヤングアダルト文学の傑作。1992年ニューベリー賞受賞。

※この本に興味のある人は『シャーロット・ドイルの告白』（偕成社）も読んでみよう

闇に追われて

モニカ・ヒューズ 作 小池直子 訳
すぐ書房 1994年

マイクは今まで順風満帆の、幸福な日々を送っていた。だが、不意に彼を襲った病が、これまでの人生を一変させてしまう。死という闇からののがれ、現実にはすがりつこうとするマイクは、両親を出し抜き、念願の鹿狩りに出かける。苦難の末に鹿を見つけ、銃を構えたマイクが見たものは…。『イシスの灯台守』*などで知られる筆者の、最高傑作とも評される心理小説。カナダの作品。

*：セットには含まれておりません。お近くの公共図書館等をご利用ください。

昔話集

からすだんなのおよめとり

チャールズ・ギラム 文 石井桃子 訳 丸木俊 絵
岩波書店 1963年

アメリカの生物学者ギラムがエスキモーから採取した9つの昔話。アラスカの自然のなかで暮らす鳥やけものたちを、滑稽に、生き生きと描いている。最初の話の「手ばたき山」は、その後の話にいく度も登場しており、この雄大な山が、季節を厳然と分け隔てる存在として、エスキモーたちの重要な心象風景となっているようすがうかがえる。

トンボソのおひめさま

バーボー、ホーンヤンスキー 文 石井桃子 訳 アーサ・プライス 絵

岩波書店 1963年

カナダの原住民およびフランス系移民の歴史研究者であるバーボ一博士が採取した昔話集。副題に「フランス系カナダ人のたのしいお話」とあるように、どの話にも魔法や妖精、王女・王子などが登場し、移民のふるさとヨーロッパの雰囲気を色濃くたたえている。1958年に出版され、カナダ図書館協会の賞を受賞。

知識の本

アメリカ（きみにもできる国際交流 9）

中島章夫 監修 真山美雪、中島章夫 共著
偕成社 2000年

世界各国の文化・風俗を紹介するシリーズのアメリカ編。「日本で見つけたアメリカ」の章では、日本に受け入れられたアメリカの文化を紹介。より身近にアメリカを感じられるような工夫もなされている。

アメリカ（目で見ると世界の国々 41）

カレン・サーバイティス 著 千野境子 訳
国土社 1997年

アメリカの国土、歴史と政治、文化、経済などについて解説した資料。原書は1995年にアメリカで発行されたもの。豊富な絵や写真はアメリカで出版された本ならではの、とくに歴史の説明が詳しく、読物として読んでも興味深い。ただし政権や社会情勢については約10年前のものなので、他の資料と併用することが望ましい。

アメリカ・インディアンの書物よりも賢い言葉

エリコ・ロウ 著
扶桑社 2001年

日本人である著者がアメリカ・インディアンの人々と直接会い、そこで得た彼らの叢智の数々。「ひとりの敵は多すぎ、100人の友は少なすぎる」など、含蓄のある格言が紹介されており、アメリカ・インディアンの精神文化に触れることができる。

アメリカ史重要人物 101

猿谷要 編

新書館 2001年新装版

「アメリカを創った人たち」という視点で編者が101人を選んだ。4つの時代区分に分け、20人を超える著者たちが分担して、1人につき見開き2ページで説明している。紹介された人物が活躍した当時のアメリカの様子を知ることができる。人名の50音順、アルファベット順、それぞれの目次がある。

アメリカ大統領物語

猿谷要 編

新書館 2002年

ワシントンからブッシュ（ジョージ・W）まで、43代42人の大統領の生い立ち、活動実績などを掲載。優れた大統領、話題性に富んだ大統領には多くのページが割かれている。巻末には「C-SPAN Survey of Presidential Leadership, 2000」による大統領評価順位も掲載されており、興味深く読める。

アメリカ鉄道夢紀行

櫻井寛 文・写真

東京書籍 1999年

アメリカ大陸横断鉄道からハワイのさとうきび列車まで、さまざまな列車の旅を描いた紀行文。気のおけない人々や美しい自然など、著者ととともにさまざまな出会いが楽しめる。カラー写真も豊富で、写真集としても楽しめる。

※この本に興味のある人は『夢の北米(あめりか)鉄道』（トラベルジャーナル）も読んでみよう

アメリカの暮らし（世界各地の暮らし 10）

渡辺一夫 文・写真

ポプラ社 1995年

アメリカの気候、学校、宗教、行事など、多くの項目について、見開き2頁で解説している。アメリカの学校に通う日本の子どもたちの声を紹介したり、豊富な写真で日米を比較したりと、日本とアメリカの対比がなされている。面積や人口などのデータは、2001年現在のもの。

アメリカの友だち

佐藤郡衛 監修

学校図書 2000年

シカゴの日本人学校の様子や、アメリカ人の子どもの日常の様子を描く。インチやポンド、華氏など、日本ではなじみのない単位についての説明のほか、都市の暮らしや農村の暮らしなども概説されている。写真やイラストも豊富で、理解しやすい。

アメリカン・ベースボール

椿正晴〔ほか〕訳

日経ナショナルジオグラフィック社 2002年

150年の歴史を持つメジャー・リーグ。そこには数々のドラマがあった。本書はメジャー・リーグの光と闇を、豊富な写真と米国野球殿堂・博物館の収蔵資料のほか、教授、音楽家などさまざまなキャリアを持つ人々のエッセイ、そして豊かな愛情をもって語る。

※この本に興味のある人は『ジャッキー・ロビンソン物語』（筑摩書房）も読んでみよう

「イグルー」をつくる

ウーリ・ステルツァー 写真と文 千葉茂樹 訳

あすなる書房 1999年

北極地方に暮らす先住民、イヌイット。彼らは昔、イグルーと呼ばれる雪の家に住んでいた。現在、イグルーで暮らすイヌイットはいないが、狩に出かけた時などは、今でもテント代わりにイグルーを作って使っている。カナダの北のはずれの島に住むイヌイットの猟師が、雪の塊を切り出し、イグルーを作り上げるまでを、写真と短い言葉で説明する。厳しい土地に暮らす先住民の見事な知恵と工夫が感じられる。

大いなる河の流れ

クロード・ヴィルヌーヴ 文 フレデリック・バック 絵 寺岡襄 訳

あすなる書房 2003年

カナダ東部から大西洋へと流れるサン・ローラン河（英語名セント・ローレンス）。その流域にはたくさんの動植物が生息していた。だが、白人の移住後、森は切り開かれ、魚や鳥、動物達は乱獲されていく。

そして河自身も、埋め立てなどの護岸工事や工業排水による汚染で深刻な打撃を被った。人類の歴史と河の歴史を重ねあわせ、人と自然の関係のあり方を問う。

開拓時代の生活図鑑

バーバラ・グリーンウッド 文 ヘザー・コリンズ 絵

あすなる書房 1998年

1840年、カナダへ来た開拓者達の生活を描く。メープルシロップやバターの作り方、染色の仕方、天気の見方など、開拓者達は生きていくためにたくさんの事を知らなくてはならず、子どもたちも働かなくてはならなかった。厳しい生活とその中の楽しみを、ロバートソン一家の日々を通して語る。

※この本に興味のある人は『大草原の小さな家』（福音館書店他）も読んでみよう

カウボーイ（ビジュアル博物館 45）

D. H. マードック 著 リリーフ・システムズ 訳

同朋舎出版 1994年

カウボーイについての様々な疑問に答える1冊。おなじみのカウボーイハットや牛追いの仕事のほか、映画の中で作り出されたイメージとはまた違う素顔のカウボーイを知ることができる。北米のみならず、南米やヨーロッパの「カウボーイ」についても解説。

カナダ（きみにもできる国際交流 10）

太田和子 監修 こどもくらぶ 編・著

偕成社 2000年

カナダはどんな国かと訊かれても、日本では意外と知られていない。本書はカナダの言葉、食事、学校、町並み、自然など様々な事柄について概説する。内容は子どもにわかりやすく、親しみやすい。

カナダ

WCG 編集室 編

トラベルジャーナル 2000年

旅行の前に知っておくと、よりカナダを楽しめるという観点から、カナダの文化や歴史、自然や人々の暮らしなど様々な分野について紹介している。文章は大人向けであるが、内容は興味深く、文化の比較

やカナダを知るための調べ学習にも有効である。

カナダ・インディアンの世界から

煎本孝 作

福音館書店 2002年

人類学者である著者が、カナダ北方先住民族とともに生活した15ヶ月間を描く記録文学。彼らは冬になると北方へトナカイ猟のキャンプに出かける。「人が飢えているときトナカイが自分から肉を与えてくる」という彼らの自然観は、厳しくも恵みを与えてくれる北の大地に適合した独特のものである。彼らの生活、考え方、そのすべてがわれわれにとって新鮮であり、滋味掬すべきものである。

カナダの暮らし（世界各地の暮らし 21）

内海準二 文・写真

ポプラ社 1997年

カナダの人々の暮らしをはじめ、教育や産業、スポーツなどについて、豊富な写真でわかりやすく紹介している。カナダで暮らす日本人の子どものコラムもあり、日本人から見たカナダについて触れられている。巻末の統計は1990年代のものが多く、他の新しい統計資料と併用するのが望ましい。

カナダ・ファクト

カナダ情報局 テキスト カナダ大使館広報部 日本語版製作

カナダ大使館広報部 2003年

カナダ情報局が作成した自国の紹介冊子。「州と準州」、「社会と文化」、「政府と法律」など、五つの単元からなる。内容は大人向きだが、解説は詳細で平易。

キング牧師

辻内鏡人、中条献 著

岩波書店 1993年

黒人公民権運動を推し進めたキング牧師。彼の歩んできた道のりは決して平坦ではなかった。反対者からの暴力、組織内部での意見の相違。たくさんの困難の中で、それでもなお非暴力を貫き、戦い続けたキング牧師の生き様を追う。

※この本に興味のある人は『自由への大いなる歩み』（岩波書店）も読んでみよう

グレート・ジャーニー 4 アラスカ編

関野吉晴 著

毎日新聞社 1998年

南米から出発し、北米、アジアを經由して人類発祥の地アフリカへと至る「グレート・ジャーニー」。本書はアラスカ地方からベーリング海峡を横断するまでの様子を綴っている。アラスカの人々、大自然の様子を豊富な写真で紹介している。

最新アメリカ合衆国要覧

外務省北米局 監修

東京書籍 2002年3訂版

合衆国全体について10ページ、50州について各4ページずつ、その他、主要都市や海外領土について、概要と統計がまとめられている。面積や人口はもとより、州の花や鳥、気温や降水量、日本との関係や姉妹都市の情報まで、多分野に渡る情報が得られる。各項に設けられた一口メモも興味深い。

図説カナダ

元木榮一 著

河出書房新社 1998年

カナダの州・準州について、その歴史や特徴、主だった都市やその観光スポットを紹介する。豊かで多様な自然、様々な出自を持つ人々。カナダはそうした多様性をすべて受け入れようと努めている国であることが伺える。小学生にはやや文章が難解かもしれないが、写真だけでも楽しめる。教師用の教材としても有用であろう。

図説ニューヨーク都市物語

賀川洋 文 桑子学 写真

河出書房新社 2000年

アメリカの代表的な都市のひとつであり、世界の中心として多くの役割を担っているニューヨークの歴史や文化を、たくさんの写真を用いてさまざまな観点から紹介している。文章は大人向けだが、目次を活用することで、調べ学習にも使える。

ターシャ・テューダーのクックブック

ターシャ・テューダー 本文およびイラスト 相原真理子 訳
文藝春秋 1998年

ターシャ・テューダーは、1830年代のライフスタイルを理想とし、ニューイングランドの広大な地で自給自足に近い生活を営んでいる。そんな彼女が贈るアメリカの伝統料理のレシピ集。絵本作家でもある本人自らのイラストつき。

※この本に興味のある人は『ターシャ・テューダーの世界：ニューイングランドの四季』（文藝春秋）も読んでみよう

楽しく歌える英語のうた

伊勢誠 監修

成美堂出版 2003年

英語の歌 29曲を収録。各曲とも楽譜、英語の詞、和訳のほか、日本で歌われている歌詞を紹介している。もとはフランスやスペインの民謡という曲もあり、曲が出来た背景や、どんな時に歌われるのか、また歌を使った遊び方などが紹介されているので、聞き覚えのある曲にも新たな発見があるのではないかな。英語の歌詞と日本語の歌詞を比べてみるのも面白い。

デザートタウン

ボニー・ガイサート 文 アーサー・ガイサート 絵 久美沙織 訳
BL出版 2003年

砂漠の小さな町の1年間を描いたアメリカの絵本。暑い夏、人々は日中ほとんど外に出ず、仕事をするのは涼しい夜になってから。砂嵐の日は全くのお手上げ。冬には雪や雨が降ることもあり、春にわずかな緑をもたらしてくれる。売り家が値下げをしたり、飛行機の修理がいつのまにか終わっていたり、絵の中で流れゆく時間を感じることができる。

ネイティヴ・アメリカン

アーリーン・ハーシュフェルダー 著 猿谷要 日本語版監修
赤尾秀子、小野田和子 日本語版訳
BL出版 2002年

ネイティヴ・アメリカンの文化や歴史を描く。白人の入植以来、彼らの歴史は苦難の歴史であった。ネイティヴ・アメリカンについて書かれた本は日本でも数多いが、本書はヴィジュアル資料が豊富で、解説も明快。項目も多岐にわたり、ネイティヴ・アメリカンについて理解する上で非常に有用である。

光ふる郷

吉村和敏 著

幻冬舎 2002年

アトランティック・カナダと呼ばれる、カナダの東側の4州を、日本人の写真家が旅をしながら撮影し、紹介したもの。刻一刻と変化する雄大な自然の美しさを感じることができる。写真の合間に紹介されているエピソードからは、その土地で暮らす人々の日常や文化がうかがえる。巻末には各州の概要説明がついている。

プリンス・エドワード島

吉村和敏 著

講談社 2000年

著者は十数年の間に、何度もプリンス・エドワード島を訪れ、四季折々の風景をフィルムにおさめてきた。本書はその集大成である。島の風土と歴史についても詳しく述べられている。『赤毛のアン』*の舞台としても有名な同島の人口は約14万人、広さは国土面積の0.06%（愛媛県とほぼ同じ）に過ぎない。だが、牧歌的な風景やアンの面影を求めて、年間約65万人もの観光客がこの小さな島を訪れている。

*：セットには含まれておりません。お近くの公共図書館等をご利用ください。
※この本に興味のある人は『「赤毛のアン」の島—プリンスエドワード島の歴史』（河出書房新社）も読んでみよう

プレーリータウン

ボニー・ガイサート 文 アーサー・ガイサート 絵 久美沙織 訳
BL出版 2000年

アメリカ大平原で暮らす人々の1年間を描いた絵本。種まき、収穫、越冬。毎年同じことの繰り返しに見える日常の中で、様々な事件がおきている。誰かを愛し、家族の死を悼み、泣き笑いながら人々は一生懸命に日々を送っているのである。この本はそうした人々の毎日を丹

念に描いている。

ヘイスタック

ボニー・ガイサート 文 アーサー・ガイサート 絵 久美沙織 訳
BL 出版 1998 年

ヘイスタックは冬に家畜たちのえさにする干草の山のこと。本書は、家畜たちの冬越しの様子のほか、家族みんなで協力し、ヘイスタックを作ったり、食べ残した干草や糞を牧場の肥料として大地に還元したりする様など、かつてのアメリカ大平原の人々の暮らしぶりを垣間見せてくれる。

マウンテンタウン

ボニー・ガイサート 文 アーサー・ガイサート 絵 久美沙織 訳
BL 出版 2002 年

かつてゴールドラッシュで栄えた小さな町の 1 年間。細かく丹念に描かれたイラストから、人々のささやかな暮らし振りがうかがえる。ニューヨークのような、高層ビルの立ち並ぶ大都会はアメリカでもごく一部。われわれが普段イメージすることのない、しかし紛うかたなき「アメリカ」が、ここにある。

マリーのケベック田舎料理

長谷川マリー 著
雄鶏社 1994 年

ケベックで生まれ、現在は長野でレストランを営んでいる著者が紹介するケベック料理のレシピ。素敵な料理に舌鼓を打つケベックの人々の姿が見えてきそうな 1 冊。ケベック州はカナダ最大の州で、日本の約 4 倍もの総面積をもつ。州都ケベックシティはフランス植民地時代から経済の中心として栄え、1985 年にはユネスコの世界遺産都市に指定されている。

リバータウン

ボニー・ガイサート 文 アーサー・ガイサート 絵 久美沙織 訳
BL 出版 2001 年

川辺の町の 1 年間を描く。川は、彼らにとって大切な交通路であり、遊び場である。石炭や穀物を載せた船が行き交い、冬になれば子ども

たちのスケートリンクになる。様々な事件が町に起こる中で、川はいつも彼らのそばで流れつづける。

海外で翻訳出版された日本の子どもの本 1998

福本友美子, 田中安男, 中西文紀子 編集・制作
日本国際児童図書評議会 1998 年

海外で翻訳されている日本の子どもの本のリストで、1988 年に刊行された旧版に新しいデータを追加した新版。原資料 1,715 タイトルの書誌事項と解題を日本語と英語で併記し、さらに原資料に対応する海外の翻訳書 3,073 タイトルの書誌事項を列記したもの。ただし、現在では入手できない資料も多い。出版元の日本国際児童図書評議会は、子どもの本に関する国際的な組織である IBBY (International Board on Books for Young People) の日本支部。

英語の本

A mountain alphabet 山のアルファベット*

Text by Margriet Ruurs Art by Andrew Kiss
Tundra Books 1996

カナダのアルファベット絵本。アルファベット全 26 文字を頭文字とする事物が描かれているほか、絵の中に文字の形が隠されており、文字探しを楽しむことができる。アメリカ大陸の壮大な自然や人々の生活の様子、多様な動植物など、絵でじっくりと味わってもらいたい。

*: タイトルは参考訳です

A number of animals どうぶつたちの数*

Christopher Wormell Written by Kate Green
Creative Editions 1993

たくさんの動物たちが登場する、アメリカの数の本。迷子になったひよこが、2 頭の馬に「お母さんを見なかった？」と聞くが、「今日は見えていないよ」と言われる。次は 3 頭の牛、4 羽の七面鳥と、動物の数が増えていく。10 まで増えて、最後は兄弟姉妹と無事合流し、お母

さんにも会える。ひとつずつ増える動物を数えながら読むほかに、各ページに小さなひよこが描かれているので、絵の中にひよこを探しながら読んでいくのも楽しい。

*: タイトルは参考訳です

A prairie alphabet **大草原のアルファベット***

Text by Jo Bannatyne-Cugnet Art by Yvette Moore
Tundra Books 1992

カナダのアルファベットの絵本。各アルファベットを頭文字とする事物が絵の中にたくさんある。プレーリーはアルバータ州、サスカチュワン州、マニトバ州に位置し、豊かな穀倉地帯として発展した。気温が 40℃からマイナス 40℃にまで変化する厳しい気候の中で、生き生きと暮らしている人々の姿が楽しめる。

*: タイトルは参考訳です

Curious George Takes a Job **ひとまねこざる**

By H.A. Rey
Houghton Mifflin 1993

『ひとまねこざる』*の原書。知りたがりやのさるのジョージが動物園を脱け出して、街へ出る。皿洗いをしたり窓拭きをしたり落書きをしたりと、なんにでも首を突っ込むジョージの姿を、ユーモラスに描く。日本でも 50 年間読み継がれている、古典的絵本。

*: セットに含まれております。

Make way for ducklings **かもさんおとおり**

By Robert McCloskey
Viking Press 1969

『かもさんおとおり』*の原書。こがもたちの英語の名前が、頭文字をアルファベット順に変えただけであるなど、英語ならではの言葉遊びが面白い。

*: セットに含まれております。

Prayer for a child

おやすみかみさま

By Rachel Field Pictures by Elizabeth Orton Jones
Simon & Schuster Books for Young Readers 1972

『人形ヒティの冒険』*でニューベリー賞を受賞した作者が、自身の娘のために書いたお祈りの詞。身近なものに対する愛情と感謝の念を、韻の美しい詩で表現している。輪郭の柔らかな温かみのある絵は、エリザベス・オートン・ジョーンズのもの。戦時中にこうした絵本が出版されているという事実は、読み手に深い感銘を与える。『おやすみかみさま』* (燦葉出版社) として、日本語にも訳されている。1945 年コルデコット賞受賞作。

*: セットには含まれておりません。お近くの公共図書館等をご利用ください。

So you want to be president?

大統領になりたいかい?*

By Judith St. George illustrated by David Small
Philomel Books 2000

「大統領になるにはどうすればいい?」というテーマで、過去の大統領の個性やエピソードを探る。「James という名の大統領は過去 6 人いた」、「丸太小屋で生まれた大統領は 8 人」、「背の高い人もいれば低い人もいる」、「浪費家もいれば締め屋もいる」、「副大統領から大統領になることもある」などなど。『アメリカ大統領物語』**とあわせて読めば、さらに楽しめる。

*: タイトルは参考訳です

** : セットに含まれております。

Something from nothing

おじいさんならできる

Adapted from a Jewish folktale by Phoebe Gilman
Scholastic Inc 1992

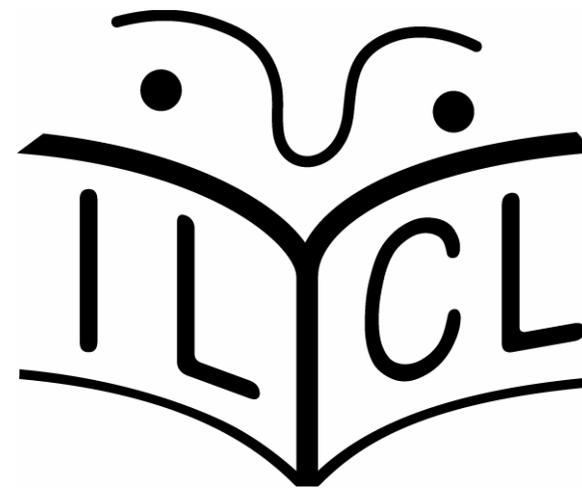
『おじいさんならできる』*の原書。表紙部分など、装丁の違いなどを比べてみるのも面白い。

*: セットに含まれております。

★コルデコット賞は年に 1 度、アメリカで出版された子ども向けの絵本のうち最も優れた絵本の画家に贈られる賞。

★ニューベリー賞は年に 1 度、アメリカで出版された児童書のうち最

も優れた作品に贈られる賞。



子どもの本は世界をつなぎ、未来を拓く！

国立国会図書館 国際子ども図書館
児童サービス課 企画推進係
〒110-0007
東京都台東区上野公園 12-49
TEL : 03 - 3827 - 2053
URL : <http://www.kodomo.go.jp/>

2007年3月1日

※この冊子は返却する必要はありません。